

『春、戻る』

～謎が解けたとき、幸せが・・・～

瀬尾 まいこ

今回は、春という言葉がもつ意味を楽しみながら読む本を紹介します。

「春」は、温度が上がり、日差しが強くなり、動物や植物の活動が始まる時期です。社会生活、学校生活においても、新たな挑戦がはじまる時でもあります。

また「春」は、「雪どけ」を意味することから、比喩的に「抑圧からの解放、自由の空気の到来」の表現としてもつかわれます。

今月のオススメ本、『春、戻る』は、心温まるストーリーが人気の瀬尾まいこの作品です。

あらすじ・・・結婚を控えたさくらのもとに、自称「お兄さん」が現れる。「兄」の出現に戸惑うさくらだが、「兄」はさくらのことを気遣い、料理を教えはじめます。結婚目前、「兄」の料理教室も最終回を迎え、さくらはようやく「兄」が何者かを思い出す。

挫折した過去とともに記憶の奥底へと追いやられていた「兄」の過去・・・。

心の奥底に、誰もが一つは抱えている、「なかったことにしたい過去」、そんな過去に誰かといっしょに触れ合えたとき、思いもよらなかった幸せが戻るのかもしれない。

